入札結果

入札日／平成19年5月 8日
5月23日（単位:円）

工事（業務）等の名称（実施箇所）	契約価格（税込み）	契約業者	完成予定
飯舘クリアセンター最終処分場嵩上げ工事（小宮字沼平地内）	6,825,000	庄司建設工業㈱	7月中旬
木戸木大倉線道路災害復旧工事（大倉字木戸木地内）	12,285,000	後藤建設工業㈱	10月下旬
飯舘簡易水道メーター器検針業務委託（村内一円）	945,000	飯舘村管工事組合	平成20年3月末
第10回海洋アドベンチャースクール業務委託（北海道方面）	4,153,180	近畿日本ツーリスト㈱福島支店	9月下旬
飯舘村産地形成促進施設改修工事（深谷字市沢地内）	99,750,000	㈱英工務店	10月下旬
飯舘村産地形成促進施設改修工事監理業務（深谷字市沢地内）	3,675,000	㈱清水公夫研究所	11月下旬

ヨコ割の新組織

4/24 「総合調整班」発足会議

▲発足会議のようす

村では、村の重要な課題や課・係等を横断する課題について、より効果的・効率的な行政執行に努めるため、庁内に「総合調整班」を設置しました。

総合調整班には、村民所得の向上を図る「所得向上に関する施策調整班」、食を通した心身ともに健康な村づくりを推進する「食に関する施策調整班」、村づくりを担う人材育成を図る「人づくり施策調整班」の3班を組織し、それぞれ8～9人の村職員等で構成しています。これまでは担当課（タテ組織）が各課題に取り組んできましたが、今後は調整班によって関係各課が連携しながら効果的・効率的な施策の推進を図ります。具体的には、課題に対する調査研究や解決案の作成、補助事業の調査などを行い、事業の執行はこれまで通り各担当課が担当します。

ビレッジハウスで開かれた発足会議では、はじめに菅野村長が職員の代表に委嘱状を交付した後、長正副村長が調整班の設置経過や設置要綱、調整課題などについて説明しました。

この後、班毎に担当する課題等について意見を交わしたり、今後の進め方を協議しました。

各調整班が担当する主な課題等は次のとおりです。

所得向上に関する施策調整班

・までいブランドを中心とした産業振興の全体戦略と行動計画の策定
・村独自の5年間の所得集中施策プランの明確化
・交流事業、定住対策の推進
・企業立地の普及支援
・起業の育成推進

食に関する施策調整班

・食に関する条例素案の策定
・家庭や学校、地域などでの具体的な食の施策の調整

人づくり施策調整班

・次代を担う人材育成
・村づくりへの次世代参画
・学力向上施策の樹立
・青少年健全育成施策
・少子化対策